



KERAMIK-CUP JAPAN2017第1回道予選に臨むU-16帯北イレブン



帯北高 全国出場狙う

新得である 旭川実と代表決定戦

U-16の高校1年(早生まれの2年生含む)を対象にしたドイツ式室内壁あり5人制サッカー(ハーレンフースバル)の「KERAMIK-CUP(ケラミックカップ) JAPAN2017」(ハーレンフースバルJAPAN主催)の第1回北海道予選(Action!十勝主催)が26日、新得町総合体育館で開かれる。十勝から参戦する帯北サッカー部U-16(岩見卓監督)は、ドイツ本大会(来年1月)を目指し、日本予選(8月23、26日・埼玉県春日部市)への出場権を懸け、旭川実と対戦する。岩見監督は「旭川実と真剣勝負し、日本予選出場を目指す」と闘志を燃やす。

(内形勝也)

U16ドイツ式室内5人制サッカー

ハーレンフースバルはサッカーボールを使用し、12分1本で行う。ピッチの四方を身の丈ほどの壁で囲い、外れたシュートの跳ね返りをゴールしたり、壁パースでディフェンスを抜き去

- 〈帯北高U-16〉
 ▽監督 岩見卓
 ▽選手 GK 阿部 諒 弥 高橋 一 颯
 FP 浄土 俊 介 荒 博 人 濱 下 恵 一 佐 木 大 河 須 賀 拓 馬 涼 太 山 田 記 竹 倉 野 翔 幹 海 野 野 祐 輔 古 庄 (☆は主将)

つたりする。アウトプレーが少なく、ボディコンタクトも許されている。ケラミックカップは、ドイツで30年以上の歴史があるU-17の国際大会。ドイツ本大会には、FCシヤルケ04、FCケルンなど、ブンデスリーガの下部組織も参戦。日本予選には、Jリーグの浦和レッドダイヤモンズや東京ヴェルディ1969などのユースチームや、プリンスリーグに参戦する高校が出場する。

の幕別札内スポーツクラブ(小田新紀代表)に開催を打診したが、時間的なゆとりがなかったため、プリンスリーグ北海道に参戦する帯北が道予選なしで日本予選に出場。帯北は、4ブロック各6チームによる1次予選リーグを3勝2敗の3位で通過し、上位12チームが出場する2次予選リーグに駒を進めた。6チームごと2ブロックに分かれた2次予選リーグでは5敗し、上位3チームによる決勝ラウンド進出はならなかった。

幕別札内SCの呼び掛けで実現

今年、幕別札内スポーツクラブがプリンスリーグ北海道の高校を中心に参加を呼び掛け、旭川実が帯北と対戦することになった。帯北サッカー部U-16は、1年生部員30人の中から15人を選抜。荒博人主将は「旭実に勝って、昨年続き日本予選に出場できるよう頑張りたい」と力を込める。道予選が開催される新得町は、総合型地域スポーツクラブのWeスポしんとく(北野則泰委員長)を中心に、町や町サッカー協会な

どが大会誘致に理解を示した。北野委員長は「初開催で手探りの部分も多いが、大会を成功させ、十勝、新得のサッカー文化の発展につながれば」と話している。

道予選は、12分1本で2試合(午後1時、同2時)行われ、勝ち点、得失点差、総得点、それでも勝敗が決まらない場合は5人のPKで決着をつける。

かちまいスポーツ

記録の速報は▼kachimai.mobi 写真がほしい▼0120-25-9410